

みき通信



日本共産党 町議会議員
くぼたみき 活動報告

第38号 2014年2月25日

発行 **がんばれくぼたみきの会**

連絡先 875-7126 (阿部)

国民の生命、くらしを優先にして！

地球温暖化が一因か、各地で大雪が降り交通マヒや停電など、生活に大きな影響をきたしました。これまでにない積雪に、雪かきや買い出しに苦勞された方も多かったはずです。バスが運休したために、タクシーは長蛇の列で歩いて帰宅するなど大混乱でした。

ところで、しんぶん赤旗12日付けには「路線バス運転手悲鳴—毎日だれかが残業—待遇はアルバイト並」の記事が。昔はあこがれの路線バスの運転手が、労働条件の悪化で人員が不足し、日常の運行や安全に支障をきたしているというのです。

また別の紙面には『20代の「離職率」は8割 - 歯科技工士がいなくなる!?』の特集記事。低賃金、長時間労働という過酷な環境から、精神的にも肉体的にも追い込まれて去っていくのだとか。「団塊の世代がリタイヤする頃には技工士が圧倒的に不足し、高齢化が進むのに良質な医療を提供できなくなる」と、危機感が広がっているという内容でした。

今若い人材を酷使して退職に追いやるブラック企業が問題になっていますが、あいつぐ規制緩和で、労働者を犠牲にして企業利益を追求するしくみが作られ、様々な職種で同様の問題が起きているのです。

国民の生命や暮らしを守るという国民から託された本来の使命を忘れ、大企業に肩入れし、数の力でやりたい放題の安倍政権。

大雪の除雪では自衛隊が力を発揮しましたが、災害救助隊としてでなく、今度は自衛隊を軍隊として海外で戦争に参加させようとしています。

韓国や中国などとの友好関係を築く努力もせず、国民を犠牲にして戦争する国づくりへ進む、安倍政権の暴走を許すわけにはいきません。

6月からごみ戸別収集始まる

町議会議員 くぼた みき

6月から町内全域で戸別収集が始まり、ごみの出し方が変わります。

戸別収集は前町長当時から減量化に大きな効果があるとして話題になり、山梨町長はモデル地区を増やすなど、更なる段階を経ての実施です。

議会でもごみ問題特別委員会をつくり、経費削減、減量化、処理方法など話し合ってきました。自治会が率先し始めたモデル地区は燃やすごみが50%減量となりましたが、町の拡大した地区はまだ17%ほどで、温度差もあるようです。議会では拡大した地域への更に十分な説明会や指導の必要を強調しましたが、町の説明不足が目立ちました。6月の新しい収集方法式開始に向けた説明会が、3月から午前・午後・夜の3回同じ会場で予定されています。説明会は全部で90回行われますが町民の理解を得るためのしっかりとした町の姿勢対応が求められます。

さて、逗子市はごみ収集の有料化を検討中で、鎌倉市では戸別収集と有料化を同時に進めようとしています。葉山町は有料化せずに戸別収集を実施します。有料化は、当初一時的にごみ量は減少するが、リバウンドが懸念されるという声もあります。

葉山方式は、直接的な町民負担がないだけ利点もありますが、ごみ量が減らなければ処分費として負担が求められます。ごみ処理経費を削減するには、町民の協力で分別を進めリサイクル率を上げることが重要です。ごみ量を減らすにはは他市に劣らぬ努力がもとめられます。

人口10万人未満の自治体のリサイクル率、全国1位は鹿児島県大崎町79%、2位は鹿児島県志布志市74%、10万人以上は1位東京都小金井市48%、2位鎌倉市47%です。人口33000人の葉山町、現在は27%ですから努力によっては更にリサイクル率を上げられます。

新しいごみの収集方式が定着し、住民サービスの向上とごみの減量化、資源化がうまく進むように私も議会で努力していきます。町民の皆さんの声、ご意見をお待ちしています。